

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 5 月 22 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/22 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	21.7	3.5 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	31.4	5.84 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 1.7 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	28.5	0.23 kPa g	A系： 0.05 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 Vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.5
2号機	循環冷却システム	運転中	19.0
3号機	循環冷却システム	運転中	18.7
4号機	循環冷却システム	運転中	19.7

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

### [3号機]

・H26/4/19 ~ 使用済燃料プール内瓦礫撤去作業のうち、燃料交換機本体撤去作業を実施。

4/23 ~ 使用済燃料プール循環冷却系については、使用済燃料プール内の燃料交換機本体撤去作業に伴い、4/23 ~ 6月上旬の間、原則毎週月曜日 7:00 ~ 土曜日 16:00 の間停止予定(停止時間は最長で 129 時間、毎週土曜日 16:00 ~ 月曜日 7:00 の間は運転予定)。また、水温は運転上の制限値 65 に十分な余裕を持った 45 を超えることがないよう、同冷却系停止前のプール水温度を 29 以下として管理する。

### < 最新の作業実績 >

5/17 11:07 冷却系起動(起動後の温度:24.4 )

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	5/17 9:57 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	5/19 10:06 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/22 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	運転中	停止中 <sup>*1</sup>	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・H26/5/22 12:19 第二セシウム吸着装置(サリー)起動。

・H26/5/23 多核種除去設備(ALPS) B系について、処理運転再開予定。

## < 5. その他 >

- ・H26/1/29 ~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。  
4/2 挿入が完了した凍結管について凍結を開始し、4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、4/28凍結管全17本の凍結運転を開始した。今後、1ヶ月程度で凍結の壁を造成していく予定であり(6月頃完了予定)、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- ・H26/3/14 13:35 ~ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/5/21 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、放射能濃度が暫定排水基準を超える雨水については、鋼製角型タンクや地下貯水槽等に貯蔵しており、暫定排水基準を超える雨水を処理するために設置した放射性物質を除去する逆浸透膜処理装置(RO装置)について、運用を開始。  
放射能濃度が運用目標値を満足する処理水について、13:22から16:12まで、敷地内へ散水を実施。散水量については約73m<sup>3</sup>。なお、放射能濃度が暫定排水基準を満足している雨水については、適宜、散水を実施。また、放射能濃度が暫定排水基準を超えた雨水は、処理装置にて放射性物質を除去し、運用目標値を満足していることを確認した上で、適宜、発電所敷地内へ散水を実施。
- ・H26/5/22 10:50 頃 H4タンクエリアの堰内雨水をH2北タンクエリアに設置してある500tタンクに移送中、当該ライン移送ホースから水が漏れいしていることを、協力企業作業員が発見。その後、11:10に移送ポンプを停止したことにより、漏えいが停止したことを確認。漏えい場所はH4タンクとH4北タンクの間で、漏えい範囲については、降雨の影響により特定出来ない。  
その後、H4タンク周辺のパトロールを行った結果、異常のないこと、また、タンク水位に変動がないことから、H4タンクからの漏えいはないことを確認。また、漏えい箇所地表面の線量を測定したところ、雰囲気線量と同程度であることを確認。今後、H4タンク堰内雨水の分析を行う予定。

### < 線量測定結果 >

- ・漏えい箇所地表面(5cm距離)70μm線量当量率(ベータ線) : 0.00mSv/h  
1cm線量当量率(ガンマ線) : 0.03mSv/h
- ・H4堰外雰囲気線量率\*1 70μm線量当量率(ベータ線) : 0.00mSv/h  
1cm線量当量率(ガンマ線) : 0.04mSv/h
- ・H4堰内雰囲気線量率\*2 70μm線量当量率(ベータ線) : 0.00mSv/h  
1cm線量当量率(ガンマ線) : 0.07mSv/h

\*1:地面から約150cm離れた位置

\*2:堰内雨水表面から約150cm、タンク側面から約150cm離れた位置

### [地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

#### < 最新のサンプリング実績 >

- ・大きな変動は確認されていない。

### [H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

#### < H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### < H6エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### [焼却工作建屋の水位・焼却工作建屋サブドレン水の分析結果]

#### < トピックス >

- ・H26/4/14 ~ 集中廃棄物処理施設4カ所(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、サイトバンカ建屋、焼却工作建屋)のうち、3カ所間において、通常使用していない以下の滞留水移送ラインに設置してある仮設ポンプ(4台)が運転中であり、焼却工作建屋地下1階の全域に滞留水が広がっていることが確認されたことから、常設水位計による常時監視ならびに、焼却工作建屋のサブドレン水の分析を強化中。

#### < 最新の水位 >

- ・各建屋内の滞留水の深さについて大きな変化は確認されていない。

[5/22 14:00 時点の各建屋水深]

焼却建屋: 深さ 20.1cm(4/14 移送停止後と比較し、2.5cm 増)

工作建屋: 5/16 10:30 回収作業が完了。

<最新のサンプリング実績>

・大きな変動は確認されていない。

**[1～4号機サブドレン観測井の状況]**

・4号機建屋山側(N14)の分析結果(5/20 採取)は、セシウム 134 が 0.75 Bq/L、セシウム 137 が 2.2 Bq/L、全ベータ放射能濃度は検出限界値未満(検出限界値:12 Bq/L)、トリチウム値は 13,000 Bq/L。今回の分析結果については、前回の分析結果と比較して大きな変動は確認されていない。今後も引き続き監視を継続する。

**[タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]**

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]**

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上